

2011年7月1日

内閣総理大臣 復興対策本部長
男女共同参画推進本部長
菅 直 人 様

国際婦人年連絡会・加盟全国組織36団体
橋本 葉子
世話人 平松 昌子
山口みつ子

6. 27の内閣改造に際し、女性大臣の不在に不満を表し 直ちに女性大臣を任命するよう要望します

先般6月24日、東日本大震災に対する支援活動及び復興政策にかかわる主要機関に女性の参画の登用を申し入れておりましたが、この度の内閣の改造に際し、女性大臣が一人もいなくなったことに驚愕しております。

未曾有の災害に遭遇した状況の中でいち早く女性NGOは人命第一に救援活動に立ち上がりました。復旧・復興活動における女性の参画は不可欠です。かかる時に、最高決定機関の内閣からただでさえ少なすぎると強い批判が上がっている中でただ一人の女性大臣を降格するとは、政府・民間一体となって復興に取り組む決意を表明している内閣総理大臣のとるべき方針とは思えず、全くの女性軽視です。ジェンダーの主流化は国際的な課題であり、第3次男女共同参画基本計画で示された方針に逆行するものです。菅総理大臣におかれましては、男女共同参画本部長であることを認識され、男女共同参画担当等の閣僚に女性を登用することにより、震災復興への意気込みを国民、とりわけ全国の女性たちに、表明する良い機会としてください。

今回の災害には各国の女性たちが積極的な支援を寄せています。日本に女性の大臣が一人もいないことは、復興への取り組みについても国際社会から悪しき評価がなされ、日本への信頼が失われることは必至です。

すみやかに、女性大臣を任命することに対する要望に応じてください。

他に、与謝野馨内閣府特命担当大臣(男女共同参画)、岡島敦子内閣府男女共同参画局長他に提出